

平成26年12月29日

風は東から *To be continued...*

新人戦は大成に敗退！春に向けてリスタート！！

新人戦、大成高校戦は0-5で力負け…。

春のインターハイ予選に向けて早速リスタート！！

12月14日、東高にとって新人戦の一大番である**強豪：大成高校**とのゲームが明大中野八王子グラウンドで行われました。各上相手との公式戦のゲームで、厳しい闘いを強いられることは必至でしたが、法政高校戦に勝利してからの三週間（途中期末考査がありました）、この日のゲームのために東高も集中して**TR**と大成高校を想定して**TRM**を組み準備を進めてきました。若干怪我人等でメンバーの変更はあったものの、比較的良好なチーム状態で大成高校との一戦を迎えることができました。

前回も述べましたが、大成高校の選手は、有名町クラブの出身者が多く、客観的に分析しても現状では大成高校の方が実力は上です。今年の選手権では、決勝戦に行った実践学園と接戦の末敗れはしましたが、チームのレギュラー殆どが二年生であり、サブメンバーも一、二年生のみ。そのゲームを経験しているのが今日の相手です。

しかし、ピッチに立つのは同じ高校生！こればかりは、やってみないと分かりません。前ゲームの明大中野八王子戦を見る限りでは、東高にも付け入る隙はあると思いました。

「大成高校に真っ向勝負でチャレンジ！東高に失うものはない、ただ前に進むだけ！！」

強豪校との真剣勝負は、新チームの現状（高校サッカーでのポジション）を推し量る上でとても重要です。今日の大成戦はまさに絶好のチャンスです。このゲームでは、引いて守るリアクションサッカーではなく、この9月から取り組んできた**「F-Higashiのサッカースタイル」**で勝負し、それがどこまで通用するのか楽しみでした。



＜いよいよ新人戦の一大番大成戦！キックオフ前の円陣も様になってきた！！＞

この日は、子どもたちも来たるべく大一番ということもあってなのか、アップからとても集中し、ミーティングでもやるべきことを確認しいい緊張感を持って万全の態勢でゲームに臨めました。ラインアップでもいい意味でリラックスができていて（こちらの勘違い??）、いい入り方ができそうだと自分は確信を持っていました。しかし…。

キックオフ直後のロングボールの処理を躊躇して大成のCKにすると、そこからどうやら歯車が狂い始めてしまいました。ここ数か月では見たことがないくらいのイージーミスと相手の予想以上の激しい当たりで自分たちを見失い戸惑う子どもたち…。大成はそこを見逃さずに、嵩に懸って攻めてきました。プランとは逆に、こちら側が付け入る隙を作ってしまう形になってしまいます。こうなると、今の東高では悪い流れを断ち切り変えられるリーダーはいません。大成の攻撃をGKと守備陣が体を張って阻止しますが、前半は二失点。結局、0-2で折り返しました。

ベンチに戻ってきた子どもたちの殆どが狐につままれていた様な35分間を過ごしてしまった表情でしたが、過ぎてしまったものは仕方ありません。後半に向けてメンバーチェンジをして流れを掴もうと修正を図り「次の一点が勝負になる！チャンスをものにしよう！！」とって後半へ送り出しました。前半の悪夢から目を覚ましたのか、後半はいつものパスワークやサイドを使った突破が見られ始め大成ゴールへ迫る場面も見られましたが、試合巧者の大成は無理をせずにカウンターからチャンスを伺います。また、立ち上がりから続く大成高校の激しい当たりがジャブのように効き始め、東高の子どもたちのミスを誘い、時間の経過とともに徐々に足が止まってきてしまいました。もちろん、東高も最後まで諦めずに点差は開いていっても自分たちのサッカーを続け一点を取りに行きましたが、結局ゲームは0-5で敗退！新人戦は大成高校に真っ向勝負を挑みましたが、力負けという厳しい現実を突き付けられた形で終了しました。



<サッカーは格闘技である！強豪校に勝てるコンタクトスキルを上げていく>

大成戦から見えてきたチームの課題…。

新人戦は。帝京八王子、法政高校に3-1で勝利するものの、強豪の大成高校には残念ながら0-5と力負けに終わりました。しかし、チームの今までの状況を振り返ると、確実に勝てる相手に公式戦になると勝てなかったチームが、順調に二つ勝ち、大成高校と公式戦で真剣に真っ向勝負できたことは大きな成果であり子どもたちの成長をスタッフ一同感じています

さて、9月から新チームの立ち上げとともにここまでいろいろなことがありました。特に、二年生にとっては環境が大幅に変わり心身ともにきつかった時期もあったことと思います。しかし、そこを乗り越えて今日に至っています。そして、今回の新人戦を通して、成長した部分とまだまだ強豪校には通用していない、これからもっとトレーニングを重ねていかなければならない部分を、公式戦を闘ったことで子どもたち自身が一番感じているはずです。

大成戦終了後直ぐに「**今大会を振り返って**」というプリントを配布し、子どもたち各々にそれぞれの立場で新人戦を通して感じたことを書かせました。提出されたプリントは、客観的に現状を把握できている内容のものが多く、自分で書いたからには責任を持って冬の厳しい**TR**に取り組んで欲しいと思っています。そこで出てきた課題を、個人としてチームとしてこの冬の三か月間でどこまでクリアし、強豪校との差を縮めることができるのか？考えていきたいと思っています。

次の公式戦は4月下旬に行われるインターハイ予選。例年のことですが、この冬の期間は長いようですが、気が付けば次の公式戦が直ぐにやってきます。チームは、大成戦後から早速インターハイ予選に向けてリスタートしました。12月には地区トップ順位決定戦を二ゲーム行い、冬休みは「川崎カップ」というミニフェスティバルに参戦し、暮れの30日まで**TRM**を行います。1月も土・日・祝日と**TRM**が組まれています。この冬もガッツリ**TR**していきたいと思っています。



<タイムアップは次へのゲームのキックオフの合図！春に向けてリスタート！！>

<After the Game>

今年も残すところあと僅かとなりました。年齢的なもの(?)もあるのかもしれませんが、この時期に一年を振り返ると「あっ」という間というか、時間の経つのは本当に早いものですね。今年の6月に行われたブラジルワールドカップで、ドイツ代表が優勝したことが遥か昔のように思えます。次の公式戦もあっという間ですね！

いつも、サッカー部の活動にご理解・ご協力ありがとうございます。今後とも引き続き応援の方を宜しくお願いいたします。今年一年間ありがとうございました。それではよいお年を！

